

序文

クロアチアにおいて最初で唯一の日本学学士号プログラムの認定を受けた直後の2015・2016年度に、第一世代の学生がユライ・ドブリラ大学プーラ人文学部のシングルおよびダブルメジャー日本語・日本文化プログラムに入学しました。その2年後の2017年1月には、日本研究における学内最初の国際シンポジウム『東南ヨーロッパにおける日本語・日本文化教育』についての国際シンポジウムを開催しました。当シンポジウムは、プーラ大学に新規設立された日本語・日本文化学部学位プログラムを記念し開催され、地域の専門家の中で協力を更に深め、地域内およびそれ以外の近年の研究トピック・日本人研究者を学生に紹介しました。本『タブラ』は、本シンポジウムの有志の参加者による執筆の論文集で、プーラ大学の日本学設立を記念した特集です。

国際シンポジウムでは、隣国の協力機関であり、数年前に日本学科設立20周年を迎えられたリュブリャナ大学(スロベニア) および最近日本学科設立40周年を迎えられたベオグラード大学(セルビア)および国内のザグレブ大学、リエカ大学の日本学の教授や研究者をお招きしました。交流を開始した日本の広島大学、筑波大学の日本語教育実習生も二名参加しました。本シンポジウム中、私たちは快適で活気のある雰囲気、交流がうまくでき、専門知識・将来の計画などを交換することができました。また、シンポジウムの運営に積極的に参加し、講義を聞き、興味を持って勉学に励んだ本学科の学生のことをうれしく思っております。

本論文集は、シンポジウムの多くの重要なトピックに触れており、本特集に貢献していただいた著者に感謝しております。その上、多くの査読者の皆様、および本大学のジャーナル『タブラ』において日本学のトピックが日の目を見ることができるようになっていた編集委員会、人文学部、大学にもお礼を申し上げます。

編集者

Preface

In the academic year 2015/2016, the first generation of students enrolled in the single and double major study program Japanese Language and Culture at the Faculty of Humanities, Juraj Dobrila University of Pula, shortly after we received accreditation for the first and only Japanese studies undergraduate degree study program in Croatia. Two years later, in January of 2017, we organized our first international symposium on Japanese studies, entitled *The International Symposium on Japanese Language and Culture in Southeastern Europe* (Croatian: Međunarodni simpozij o poučavanju japanskoga jezika i kulture u Jugoistočnoj Europi, Japanese: 東南ヨーロッパにおける日本語・日本文化教育についての国際シンポジウム). The symposium marked the establishment of Japanese studies in Pula, initiated broader cooperation among experts in our region, and introduced current research topics and Japanese experts in